

# 広報あかひ

昭和61年10月1日発行 No.285

# 10

■発行／赤池町役場〒822-11福岡県田川郡赤池町大字赤池1146番地の1 ☎0947(28)2004 ■編集／総務課文書広報係

★町の人口★ 人口10,157(+21) 男4,814(± 0) 女5,343(+21) 世帯合計3,401(+ 5) 61年8月末日現在( )内は前月との比較です



### 交通安全宣言

- ① 町民の一人ひとりが、人の生命の尊さを考え、他人に対する思いやりと譲りあい  
に徹し、粗暴運転やめいやく交通の追放に努めます。
- ② 子供や高齢者などの交通弱者の交通事故防止に努めます。
- ③ 若者の無謀運転、特に三輪車による交通事故防止に努めます。
- ④ 家庭、職場、及び地域ぐるみの交通安全活動のリーダーとして、交通事故防  
止に努めます。
- ⑤ シートベルト、ヘルメットなどの着用徹底により、交通事故防止に努めます。  
以上宣言します。

昭和61年9月22日 昭和61年赤池町交通安全運動推進大会  
参加者一同

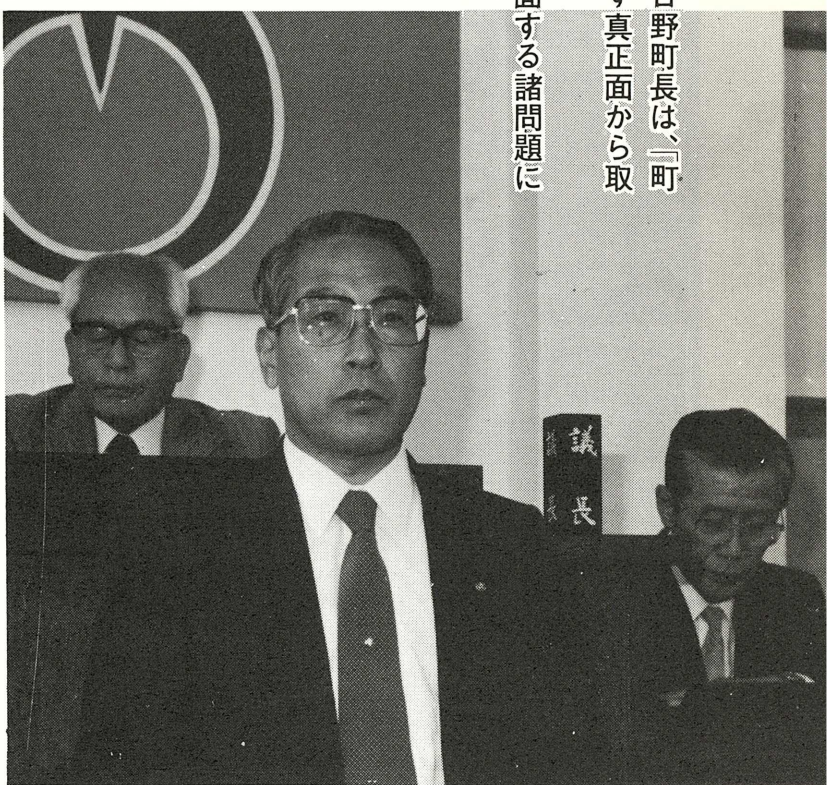
—— 鼓笛の音も高らかに ——  
町部を行進するパレード隊

(として保存してください)

九月二十五日から始まった第七回九月定例町議会の初日、日野町長は、「町づくりの基本理念に沿って、正しい目標に向かい、背を向けず真正面から取り組む」と、町政執行についての所信を表明しました。町財政の立て直し、公正な行政の推進など六つの政策と当面する諸問題に対する取り組み方について、次のように述べました。

# はじめに

『緑と清流、やきものと文化のまち赤池、人の心の豊かさを求めて』  
赤池の町づくりの基本理念であります。このテーマに誠心誠意をもってこれからの町行政に携わっていきたいと思います。このたびの選挙で、色いろな人から多くのご意見を聞かせていただくことができました。中でも、



日野町長は、「町づくりの基本理念に沿って、正しい目標に向かい、背を向けず真正面から取り組む」と、町政執行についての所信を表明しました。

## 1 町の重要課題は 財政の立て直し

昭和五十年年度から連続の赤字決算を続け、好転の見通しもたちません。五十一年に財政再建計画、五十六年自主再建計画の議会決議のもとに努力を重ねてきました。経済の変動により地方交付税、補助金の削減によって大きな狂いが生じました。自主財源に乏しい地方自治体の再建の難しさを思い知るものです。町民の意見の中には、「このような状態が続くのなら早く再建団体の適用を受けるべきだ」と言われる人もいます。しかし、今日、国も行財政改革の最中であり、再建

団体の申し入れについては、簡単に受け入れられないと言っています。また、町にとっても地方自治権の放棄であり、好ましいことではないこともご承知お願ひしたいと思います。いづれにせよ決断の時期は来ています。最悪の道を歩むことになっても町民のみなさんに出来るだけ負担のかからないよう、少しでも迷惑をかけないようにすることが私の責務であると思っております。自主再建は、再建団体以上の厳しさが必要であります。これからのもっと厳しい内容になることを

## 2 公正な行政を

正直者が馬鹿を見るような、直面目な人が損をするような社会であっては断じてならないと思えます。公共のサービスは、町民のみなさんが等しく受ける権利を有しております。しかし、その反面、義務をも背負っているわけであり、町の行政は、総てが納税によってその財源が賄われていることはご承知のとおりです。

## 3 鉦害問題

当町は、町内全域と言っているほど鉦害被害地域です。この取り組みについては、これまで地域住民代表の方々長い年月にわたって努力されたお陰で復旧工事も進んでいますが、工事量、予算配分等の問題があり、なかなか被害者の希望どおりの進捗となっていない。かててこれらの鉦害認定申請の手続きや認定要請の動き等、残された法の

期限内で多くの課題をかかえています。町民の不安と心痛を思います。き、一日も早く諸問題解決のためみなさんと共に鋭意努力を重ねていく所存であります。今後の町の取り組みとしまして組織機構の検討を加え、六十二年度の早い時期に鉦害専属の窓口を設置したいと思っております。

## 4 社会福祉と医療の充実

幼児保育から身障、老人問題まで、幅広い福祉問題は二十一世紀に向けて予測される社会構造を的確に見つめながら今後の施策を講じていく必要があると思えます。「人生八十一年型社会」の構想がとり上げられようとしています。施設等の要求は多々あると思えますが、これ等については、もっと専門的な意見を諮問していき

現在、赤池町にはまだくたくくさんの諸問題をかかえています。国鉄の第三次路線廃止問題や上野峡国鉄バスの廃止問題など、過疎地域切り捨ての身近な緊迫した問題があります。これらについては、全町をあげて反対の運動を展開してまいりたいと思えます。また、産炭地関係法、地域改善対策法の期限切れの問題等、特に就労対策事業については、地域開発のため、そして、生活を守る立場として法の延長を強く要請してまいります。具体的な年度別の施策は、行政改革大綱にそって、また第二次総合計画の立案にのっとり、各審議委員の方々のご意見を十分にふまえて取り組んでいき

## 5 分譲住宅団地の造成と企業誘致

快適な環境づくりに、分譲宅地の造成は現在着手中で、六十二年度早々には第二期の分譲を開始する予定です。赤池町の人口一万二千人を目指し、地域経済の向上のため地域振

興整備公団の工業団地造成は、六十三年度完成の予定ですので円高不況で企業は一段と厳しさを増しておりますが、弛まず誘致促進を働きかけたいと思えます。

## 6 教育と文化を高め 誇れるふる里づくり

赤池町には、幸にして児童生徒の非行の問題が、皆無とはいえないまでも、大きな問題となっておりません。これは学校、父母の会をはじめ地区公連、子ども会育成会のみなさん方の日頃のご指導によるものと感謝申し上げているところです。これからの差別のない、相手の立場を考える人間づくりに力を入れていきたいと思えます。また、赤池町は他の市町村にない素晴らしい自然と文化を持っています。緑と清流の白糸の滝があります。緑と清流の白糸の滝があります。

# 文化のまち“赤池”

## さを求めて—

### 問題について

#### 町長所信表明

# 緑と清流、やきものと

## 人の心の豊か

### 6つの政策と当面する諸